

「投資」するのは、その会社を応援している人です。会社は「投資」してくれた人に、「株式」というものを渡します。「株式」を持っていると、毎年、会社の儲けに応じてお金（配当）が支払われます。このようなしくみの会社のことを、「株式会社」といいます。

7. 会社とわたしたちのかかわり（P8）

【問題1】会社とわたしたちにはどんなかわりがあるでしょうか。下のヒントを参考にして考えて書きましょう。どんなことでもかまいません。

【問題2】会社はわたしたちの生活を豊かにしてくれます。会社を応援するにはどんな方法があるか、書きましょう。

- ・商品を買う⇒会社の売上げが上がる
- ・株式を買う⇒会社が長期間、使えるお金になる
- ・銀行にお金を預ける⇒銀行は預かったお金を会社に貸して応援する

8. 応援する会社を見つけましょう（P9）

【問題1】みなさんの知っている有名な会社は、大体が「株式会社」です。会社が作った商品を買ったり、その会社の株式を買ったりすることで会社を応援できます。あなたなら、どんな会社を応援してみたいですか。□に○を書き、応援したいと思う会社名を下線部に書きましょう。

【問題2】なぜ、そう考えましたか。問題1で選んだ会社を応援すると決めたいちばんの理由は何か、書きましょう。

全員が書けたことを確認して、発表させる。
テキストに書いてあることを読んで発表させる。
途中、友達の見解を聞いていいなと思ったら書き足しておく。

9. 会社を応援した結果、社会はどうなったのかな？（P10）

【問題1】会社は、新しい商品を開発したり、今までとは違うビジネスをやってみたいと考えます。そのためにお金が必要です。お金を集めるためには、どうしたらよいですか？
銀行から借りる方法もありますが、株式を発行する方法もあります。会社が新しいことに挑戦したいと思った時、わたしたちは株式を買うことで会社を応援することができます。応援した結果、どのようなことが起こるのか、起こる順番を右のア・イ・ウから選んで（ ）の中に書きましょう。

（2）⇒ア （5）⇒ウ （6）⇒イ

10. 会社は世の中の発展や成長のエンジンです（P11）

【問題1】わたしたちの生活は昔と比べてとても便利になっています。会社がより良い商品やサービスを提供するようになったおかげです。問題1の図は、携帯電話の変化です。ほかに、身の回りで、どんどん進化していったものにどんなものがありますか。下の絵を参考にして書きましょう。

- ・パソコン、エアコン、テレビ、車、など

- ・書いた子から発表させていく。わからない子の参考にさせる。ヒントを写してもよいことを告げる。
- ・隣近所で相談させながら書かせる。
- ・書いたことを隣どうしで見せ合いっこする。
- ・友達の見解を聞いて、いいなと思った内容は書き加えるようにする。
- ・テキストを持ってこさせる。
- ・書けたことを褒めて、黒板にひとつ書くように指示する。
- ・黒板に書かれた見解を発表させる。

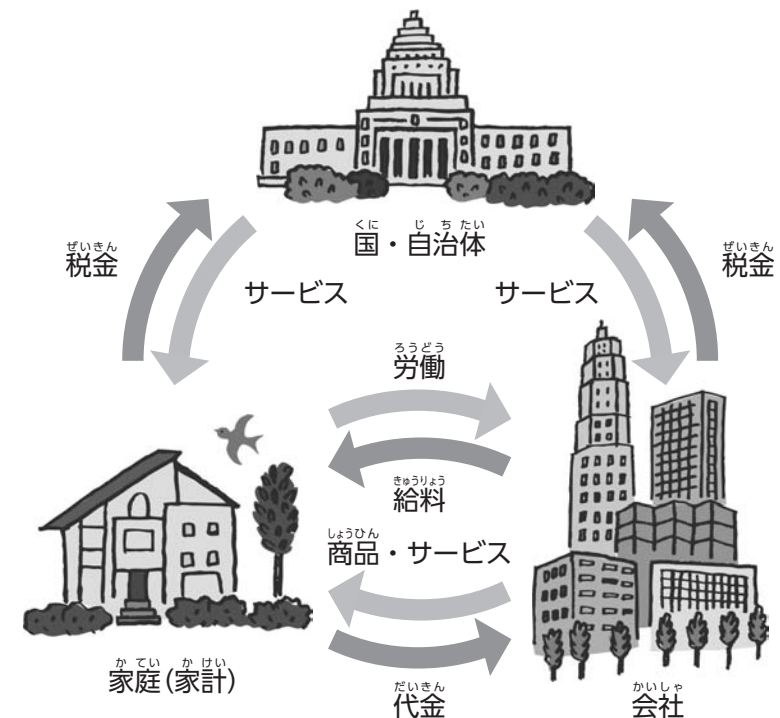
- ・自動車を作っている会社で例示をし、参考にさせる。
- ・自動車、お菓子、鉄道、ゲーム、その他で黒板を分け、会社名を板書させていく。わからない子の参考にさせる。
- ・保護者は様々な会社に勤めているので、会社を中傷するような発言をさせないようにする。
- ・理由を書かせた後、応援したい会社と理由をセットで発表させる。
- ・なかなか書けない子には、黒板を参考にし、て書けばいいと教える。
- ・自分の思う、応援したい会社を挙手指名でどんどん言わせる。

- ・（ ）の中に記号を入れさせ、挙手で確認する。
 - ・図について、数人の児童を「会社」「株主」「消費者」「社会」に見立て、モデル化して説明する。
- ※発行市場での株式購入代金は会社に流れるが、流通市場での株式購入代金は投資家から投資家に渡るので会社には流れない。児童に説明すると複雑になるので詳しくは触れない。
- ・まとめ「株式会社～」を読み、「証券取引所」「上場会社」の用語を「証券取引所とは何ですか」などと確認しながら押さえる。

- ・会社が世の中に及ぼす影響について、イラストを見ながら順番を考えさせる。
- ・書かせた後、発表させる。
- ・まとめ「応援したい～」を読み、大切だと思ふところに線を引かせる。
- ・コラム「世界で最初に～」を読む。

社会のしくみとお金の役割

教師用指導案



授業のご意見・ご感想を寄せてください。

「社会のしくみとお金の役割」テキストを授業された先生方のご意見・ご感想、および児童の感想を募集しています。お寄せいただいたご意見・ご感想は、今後のテキスト制作の参考にさせていただきます。同封のアンケートにご記入ください。

1. 対象学年：小学校5・6年

2. 配当時間：1～2時間：社会、総合的な学習、特別活動

3. ね ら い：①お金の役割やその大切さを知る。

②社会の中で「お金が流れるしくみ」について学ぶ。

③会社の活動と私達の生活の関係について調べ、お金の使い方を学ぶ。

④会社の役割や会社を応援する方法を知る。

主な発問・指示	指導上の留意点
1. お金はだいじだよ (P2) 前文「わたしたちが～」教師が読む。 【問題1】 お金で買えるもので、あなたが今いちばん欲しいものは何ですか。2ページの、問題1に書きましょう。 ゲーム機・洋服・パソコンなど 【問題2】 ではそれを得るために、みなさんはどんなことをしますか。あなたの考えに近い方を選んで□に○をつけましょう。 ・おうちのの人に頼む。クリスマスプレゼントでもらう。 ・おこづかいを貯める。 ものを買うには、お金が必要になってきます。	・テキスト通りにテンポ良く進める。 ・今後のページにおいても、前文や問題は、教師または児童が読むようにし、余計な説明は極力しない。 ・書かせた後、子ども達に発表させる。 ・誰もが答えられる発問なので、多くの子に列指名などで答えさせる。 ・どちらに○をつけたか挙手で確認する。 ・理由を書かせ、書けた子から発表させる。または隣近所で相談後、発表させる。(正解はないので)理由を書くことができたら○をつけさせる。 ・発表したことは、すべて認めて褒める。
2. 暮らしを支えるお金 その① (P3) 【問題1】 お金はどのように動くでしょう。身近な例から考えてみます。皆さんが、書店でマンガを買ったとき、お金はどう流れますか？(書店に流れる)他にも、何をしたらどこにお金が流れるか、思いっくだけ書きなさい。 ゲームを買う。 ➡おもちゃ屋 洋服を買う。 ➡洋服屋 散髪をする。 ➡床屋 【問題2】 おうちの人がお金を使う時はどんな時か、できるだけたくさん箇条書きにしましょう。その時、お金はおうちの人からだれに移動するかも書きましょう。 私たちが暮らす中で、たくさんお金を使う場面があります。このようにお金を使うことを、「経済活動」といいます。	・例を読む。 ・書かせた後、数人に発表させる。 ・経済活動には、ものを買うことと、サービスを受けることの2種類があることに気づかせる。 ・何かを買ったり、サービスを受けたりすることでお金が流れることを押さえる。 ・例を読む。 ・書かせた後、数人に発表させる。 ・まとめ「このように～」を読み、「経済活動」の用語を「経済活動とは何ですか」などと確認しながら押さえる。
3. 暮らしを支えるお金 その② (P4) 【問題3】 お金は世の中をぐるぐる回っています。下の絵の矢印で、お金の動きを表しているのはどちらでしょうか。選んで○をつけましょう。 オレンジ 【問題4】 お金は動き方によって、呼び方が変わります。次の①、②、③のお金の動きは何と呼ばれているでしょうか。うすい文字をなぞりましょう。	・○をつけた箇所を挙手で確認する。 ・お金の動きを表している矢印(オレンジの矢印)を指でなぞらせる。 ・問題を教師が読み、解答を児童に答えさせる。その後、うすい文字をなぞらせる。 ・早く終わった子は、繰り返し読ませる。

4. 暮らしを支えるお金 その③ (P5)

【問題5】 「代金」「給料」「税金」の中から、下の□にあてはまるものを書きましょう。

上から、「税金・給料・代金・税金・代金・代金・税金・給料」

5. お金を得る方法と使い方 (P6)

【問題1】 あなたがおうちのお手伝いをしておこづかいをもらったとします。おうちの人がどうしておこづかいをくれたのか理由を考えて書いてみましょう。

・働いたことに対するお駄賃でお金をくれた。

では、もらったお金をどんなことに使いますか。あなたの必要なものや欲しいものは何ですか。

・本や文房具を買うことに使う。
・お菓子やゲームを買うことに使う。

【問題2】 いろいろな使い道が考えられます。今選んだお金の使い道は、本当に必要なものでしょうか。上手にお金を使うためにどんなことが大切だと思いますか。うすい文字をなぞりましょう。

(※2時間で扱う場合は、ここで1時間目を終わる。)

6. 社会の中での会社の役割 (P7)

【問題1】 今日は、会社の果たす役割について勉強します。会社は、多くの人の応援で成り立っています。社会の中での会社と、会社にかかわることを図にしました。()の中にあてはまる言葉を考えて書いてみましょう。

例えば、会社と社員の関係。
社員が会社で働くことで、会社はいろいろなものを作ることができます。代わりに会社は社員に、何をしてあげていますか。

お給料を払う。

会社は社員から労働力をもらう代わりに、給料という形で返しています。

では、前回習った、「税金」「代金」がどこに入るか、()の中を埋めましょう。

会社と消費者の関係を見てみます。
会社はものを作って、みんなに売っています。でも、それだけではありません。例えばバス会社。みんなはバス会社からバスを買わないよね。バス会社にお金を払って、遠くまで運んでもらっています。このように、お金を支払って何かしてもらうことを、「サービス」といいます。

会社と銀行の関係を見てみます。
会社は新しい事業を始めたり、物を作ったりするのにお金がかかるので、銀行からお金を借りることがあります。それとは別に、銀行以外の人からお金を集めることもあります。

・「代金はどこへ動きますか」などと問い返すなどして「代金」「給料」「税金」の動きを押さえる。
・□に書かせる。その後、数人に発表させる。合っていたら○をつけさせる。間違っていたら赤で直させる。

・理由を書かせ、書けた子から発表させる。または隣近所で相談させた後、発表させる。
・まとめ「将来、おとなに～」の文を読ませ、大切だと思うところに線を引かせる。
・問題文を読ませた後、うすい文字をなぞらせる。
・大切だと思うところに線を引かせる。
・指名して発表させる。
・お金の使い道に、様々な方法があることに気づかせる。
・必要に応じて、お金の使い道を考えるエピソードなどを交えて話す。

・ものとサービスの違いについて押さえる。
・隣近所で相談させながら、書かせる。
・書けた子から指名して読ませる。時間調整である。全員が書き終えたら、再度通して読ませる。
・時間に余裕があれば、感想などを余白に書かせてもよい。知ったことを整理するために行う。
・会社と銀行の関係、会社と株主の関係を押さえる。
・株式会社のしくみについては意味がわかりにくいので、次のようなロールプレイを挟みながら説明するとよい。
・図をもとに、数人の児童を「会社」「株主」「消費者」などに見立て、モデル化して説明する。
・書けた子から発表させる。
・よくわからない子に、発表で出た内容を写させる。
・書けた子に○をして、板書させる。お金の使い方も移動の仕方も両方である。板書をわからない子の参考にさせる。
・黒板が埋まったら発表させる。その意味を簡単に解説する。
・早く書けた子を指名して発表させる。なかなか書けない子には同じことを書けばいいと教える。
・まとめ「『株式』を～」を読む。